

第12回

日本と世界のつながり(2)

エネルギー・交通・通信

標準問題

▶解答▶別冊12ページ

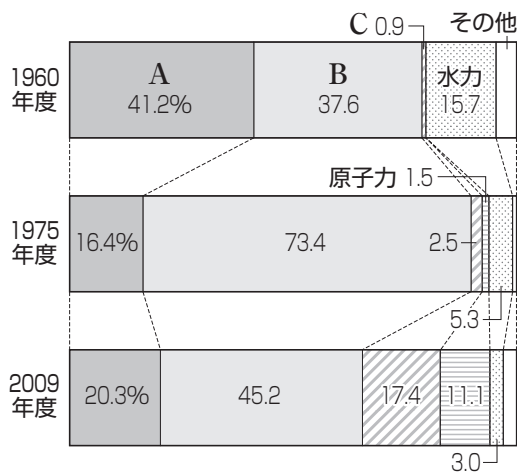
1 右のグラフは、日本のエネルギーの供給割合の変化を表しています。グラフを見て、あとの各問いに答えなさい。

□(1) グラフ中のA～Cにあてはまるエネルギーを次のア～ウから選び、記号で答えなさい。

ア 石油 イ 天然ガス ウ 石炭

A B C

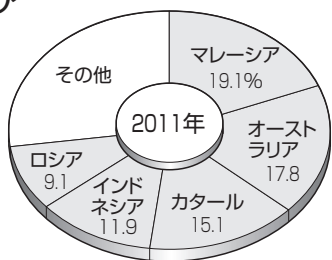
□(2) 1960年度と比べて、Cや原子力の供給割合が増えてきています。これは、1970年代に第四次中東戦争とイラン革命が原因で、あるできごとが2度おきたことによります。そのできごとを答えなさい。



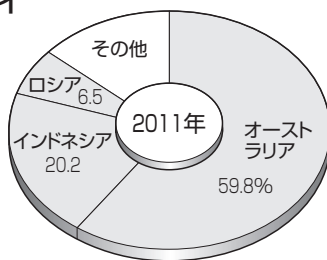
(2012/13年版「日本国勢図会」ほか)

□(3) Aの輸入先の割合(金額による)を表したグラフを次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

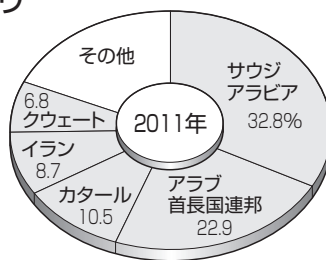
ア



イ



ウ



(2012/13年版「日本国勢図会」)

2 右のグラフは、日本の発電量の割合の変化を表しています。グラフを見て、あとの各問いに答えなさい。

□(1) グラフ中のA～Cの発電方法を次のア～ウからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 原子力発電 イ 水力発電 ウ 火力発電

A B C

□(2) グラフ中のA～Cの発電方法にあてはまる文を次のア～エからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 発電所を電気の使用量の多い都市の近くに建設することができます。

イ 発電所の建設にあたり、集落の移動を必要とする場合があります。

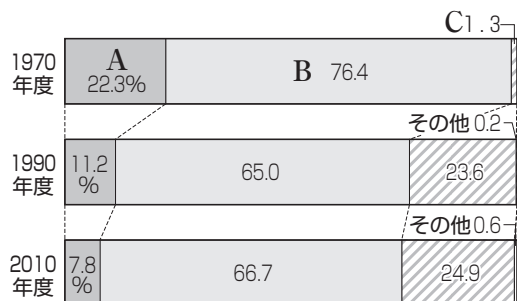
ウ 使用済み燃料の処理方法がまだ完全に解決されていません。

エ 大きな発電量を確保することがむずかしいです。

A

B

C



(「日本国勢図会」)

3 右のグラフは、わが国の貨物輸送の割合の変化を表しています。グラフを見て、あとの各問いに答えなさい。

□(1) 現在、貨物輸送で最も利用されている輸送機関を次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

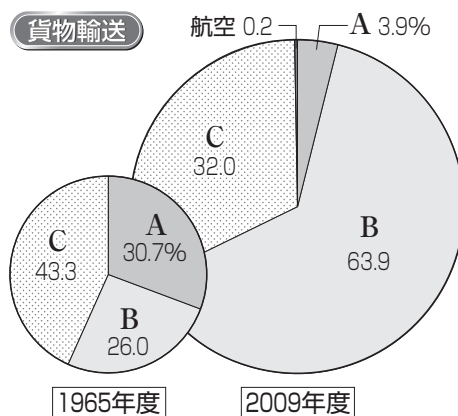
ア 船 イ 鉄道 ウ 自動車

□(2) 次の文は、グラフ中のA～Cの輸送機関の特長です。あてはまるものを次のア～ウからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア とちゅうで積みかえることなく、戸口から戸口へ荷物を運ぶことができます。

イ 時間のおくれがほとんどなく、二酸化炭素の排出量も少なく環境にやさしい輸送機関です。

ウ 重くかさばる荷物を安く大量に運ぶことができます。



(2012/13年版「日本国勢図会」)

A B C

□(3) 長距離の自動車輸送のとちゅうを、鉄道や船に切りかえて輸送することを何といいますか。

4 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

昔は、のろしやかかわら版などが情報を伝える通信手段でした。現在では、移動しながら通信できるけいたい電話やインターネット、人工衛星を使った衛星放送など、さまざまな通信手段があります。これらの発達によって、①大量の情報が生産され、その利用が重視される社会をむかえています。こうした社会では、さまざまな情報をすばやく入手することができ、わたしたちが生活していくうえでとても便利になりましたが、②その反面、問題点も多くあります。

□(1) 下線部①について、このような社会を何といいますか。

□(2) 下線部②について、問題点としてまちがっている文を次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア インターネットが世界的に広がったため、新聞を読む人はほとんどいなくなりました。

イ 事実とはことなる情報が流され、そのまちがった情報にまどわされることがあります。

ウ インターネットなどを通じて、個人の情報が知らないうちに流されプライバシーがおかされることがあります。

エ インターネットの掲示板に自分の名前をふせて書かれた悪口などがきっかけで、いじめに発展することもあります。

□(3) (2)のような問題点に対応するために、わたしたちはどうしたらよいか、簡単に答えなさい。

チャレンジ問題

▶解答▶別冊12ページ

次の文を読んで、あとの各問いに答えなさい。

〈成城学園中学校・改題〉

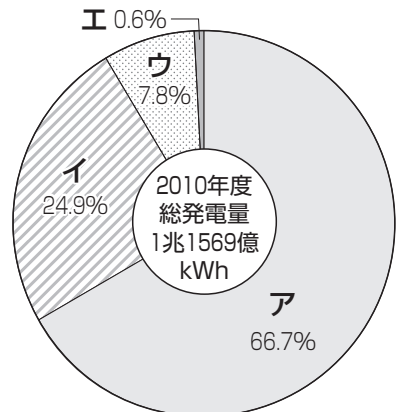
第二次世界大戦後しばらくの間、日本では水力発電が主流でしたが、その後(①)を利用した火力発電がさかんになりました。さらに、西アジアから安く輸入できるようになった(②)を火力発電に利用するようになりました。また、1970年代になると新たに(③)を利用した原子力発電にも力を入れるようになり、火力発電でも天然ガスの利用が増えていきました。

しかし、①水力・火力・原子力という3種類の発電にはそれぞれ問題があり、最近②そのほかの「新エネルギー」による新しい発電方法も開発、導入が進められています。

□(1) 文中の()①②③にあてはまる、発電に利用される地下資源名をそれぞれ答えなさい。

① ② ③

□(2) 右のグラフは、日本の総発電量に占める発電方法別の割合である。原子力発電はどれか、グラフ中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



(2012/13年版「日本国勢図会」)

- ① この発電に利用される資源の価格は、国際競争などのえいきょうで急に値上がりするなど、不安定である。
- ② この発電では、温室効果ガスの発生がほとんどなくクリーンなエネルギーを生み出すとされているが、いったん事故が起こると、長い間環境や人体に大きなえいきょうをおよぼす。
- ③ この発電では、二酸化炭素の排出量が多く、地球温暖化につながるといわれている。
- ④ この発電を行うためには、大規模な発電所を建設する必要があるが、そのわりには発電量が限られている。
- ⑤ この発電で生じる廃棄物(ゴミ)は、地下深くにうめて処理することになっているが、その処理場については、現在青森県六ヶ所村以外決まっていない。

① ② ③ ④ ⑤

□(4) 下線部②について、新エネルギーの1つである風力発電の長所と短所を簡単に答えなさい。

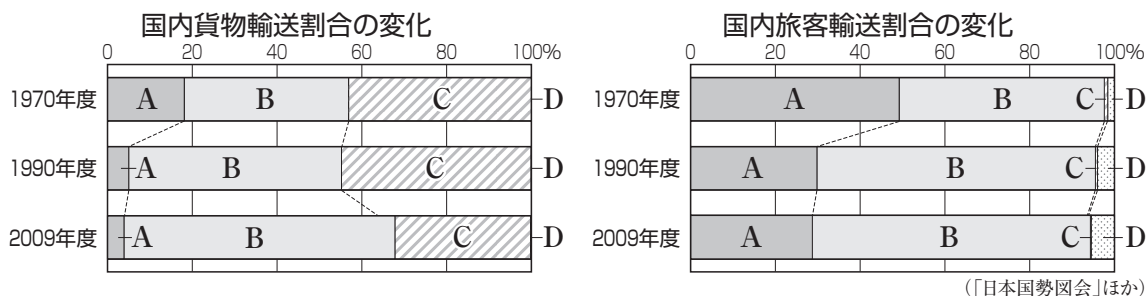
・長所

・短所

2 日本の輸送について、あとの各問いに答えなさい。

〈神奈川県附属中学校・改題〉

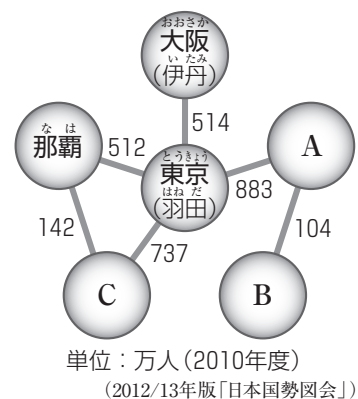
□(1) 次のグラフは、貨物・旅客輸送量の輸送手段別割合の変化を示したものです。グラフ中のA～Dにあてはまる輸送機関の組み合わせとして正しいものを下のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



- ア A—鉄道 B—自動車 C—船舶 D—航空機
- イ A—自動車 B—鉄道 C—船舶 D—航空機
- ウ A—自動車 B—船舶 C—航空機 D—鉄道
- エ A—航空機 B—鉄道 C—自動車 D—船舶

□(2) 右の図は日本の主な空港間の旅客輸送量で、年間の旅客数が100万人をこえるものの一部です。図中のA～Cにあてはまる空港名の組み合わせとして正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア A—札幌 B—福岡 C—中部(名古屋)
- イ A—札幌 B—中部(名古屋) C—福岡
- ウ A—中部(名古屋) B—札幌 C—福岡
- エ A—福岡 B—中部(名古屋) C—札幌



3 次の表は、メディア(情報を伝えるための手段や方法のこと)別の広告費の変化を表しています。表を見て、あとの各問いに答えなさい。

〈東京学芸大学附属世田谷中学校・改題〉

□(1) 広告費の多いメディアを多い順に2つ選び、そのメディア名を答えなさい。

□(2) 2000年～2011年の広告費の伸び率の高いメディアを高い順に2つ選び、そのメディア名を答えなさい。

	広告費(億円)			
	1990年	1995年	2000年	2011年
新聞	13,592	11,657	12,474	5,990
雑誌	3,741	3,743	4,369	2,542
ラジオ	2,335	2,082	2,071	1,247
テレビ	16,046	17,553	20,793	17,237
ダイレクトメール	1,968	2,746	3,455	3,910
折り込み 〔新聞折り込みなど〕	3,286	3,916	4,546	5,061
屋外 〔屋外かんぱんなど〕	3,815	3,324	3,110	2,885
衛星メディア関連 〔ケーブルテレビ、衛星放送など〕	119	158	266	891
インターネット	—	—	590	8,062
総広告費	55,648	54,263	61,102	57,096

(2012/13年版「日本国勢図会」ほか)

標準問題

▶問題→48ページ

解答

- 1 (1) A ウ B ア C イ
(2) 石油危機(石油ショック)
(3) イ
- 2 (1) A イ B ウ C ア
(2) A イ B ア C ウ
- 3 (1) ウ
(2) A イ B ア C ウ
(3) モーダルシフト
- 4 (1) 情報(化)社会
(2) ア
(3) (例)ふだんから正確な情報を見きわめる目をやしなっておくことや、個人情報を持ってに流さないように注意することが大切となる。

解説

- 1 (1) 1960年ごろまでは、国内で産出する石炭がエネルギーの中心でした。その後石油が安く輸入されるようになって中心となりました。
(2) 石油危機は、1973年と1979年におこりました。
(3) アは液化天然ガスの輸入先、ウは石油の輸入先の割合のグラフです。
- 2 (1) 1960年以前は水力発電が中心でした。1960年代になるとエネルギーと同様に石油による火力発電が中心となりました。そして1970年代の石油危機後、原子力発電の割合が増えました。
(2) エは風力発電などの新エネルギーのこと。
- 3 (1) 貨物輸送の中心は、全国に道路網が整備され、船から自動車にかわってきました。
(3) 自動車の排出ガスを減らすことが大きな目的です。
- 4 (2) ア…インターネットの普及で、とくに若い世代で新聞を読まない人が増えてはいますが、読む人がほとんどいなくなったりはしていません。

チャレンジ問題

▶問題→50ページ

解答

- 1 (1) ① 石炭 ② 石油 ③ ウラン
(2) イ
(3) ① イ ② ウ ③ イ
④ ア ⑤ ウ
(4) 長所 (例)自然のエネルギーを利用するので無限に利用でき、地球環境へあたえるえいきょうが少ない。
短所 (例)天候に左右されやすいうえ、大きな発電量を得にくい。
- 2 (1) ア
(2) イ
- 3 (1) テレビ、インターネット
(2) インターネット、衛星メディア関連

解説

- 1 (1) 火力発電のエネルギー源は、①の石炭から②の石油へと変わってきました。また、原子力発電の核燃料は放射線の強いウランです。
(2) 1970年代の石油危機で、石油にたよりすぎていた反省から、その後原子力発電がのびてきました。一方、東京電力福島第一原子力発電所の事故をきっかけに、原子力発電の廃止が必要か、議論が続いています。
(3) 水力発電、火力発電、原子力発電それぞれの長所と短所をまとめておきましょう。
(4) 自然エネルギーは気候のえいきょうを強く受けるので、安定して電力を確保するのがむずかしいことも課題の1つです。
- 2 (1) 貨物輸送の主力は船から自動車へ、旅客輸送の主力は鉄道から自動車へと、現在はどちらも自動車が主力となっています。
(2) 航空機による国内の旅客輸送では、東京—札幌間が最も多く、ついで東京—福岡間となっています。Bは札幌との間で結ばれていて旅客人数も多いことから中部(名古屋)と判断します。
- 3 (2) 2000年と2011年を比べると、インターネットは約14倍に、衛星メディア関連は約3倍に増えています。どちらも新しいメディアなのでのび率が高くなっています。